

## 研究実施のお知らせ

研究課題名：重症大動脈弁狭窄症合併症例に対する非心臓手術（心臓手術以外の手術）の周術期管理の検討

研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2014年11月～2026年12月に重症大動脈弁狭窄症を合併し非心臓手術（心臓手術以外の手術）の麻酔を受けられた患者様

### 【研究の目的と意義】

重症大動脈弁狭窄症は心臓の出口である大動脈弁が狭くなってしまう疾患です。高齢化による動脈硬化が原因の一つと言われており、超高齢化社会を迎えるにあたり増加が予想されています。重症大動脈弁狭窄症は非心臓手術を受ける患者様の手術麻酔管理において大きな循環器系リスクとなります。そのため、非心臓手術を受ける患者様では、非心臓手術を優先させるか、大動脈弁狭窄症の治療を優先させるか難しい選択となります。現状では様々なガイドラインを参考に、患者様個人に合わせた方針を麻酔科や循環器科、非心臓手術をする科で相談して決定しています。今回は、非心臓手術を先行して手術麻酔管理を行った患者様の周術期の管理の方法や合併症について調査をさせていただきたいと思います。これにより重症大動脈弁狭窄症を合併した患者様が非心臓手術を先行して受ける場合に、どのような手術麻酔管理をおこなえば安全なのかを検討することができ、今後同様の手術麻酔管理を受ける患者様の安全に繋げていくことができると考えます。

### 【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究（過去にさかのぼって調べる研究方法）です。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、身長、体重、心機能、循環器疾患や他臓器疾患の既往、術前の運動機能や認知機能、栄養状態、麻酔法、周術期血圧や使用薬剤、合併症、術後経過等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【研究の実施体制】

研究責任者：仙台市立病院 麻酔科 医長 安達厚子

共同研究者：仙台市立病院 麻酔科 部長 安藤幸吉

### 【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 安達厚子

麻酔科部長 安藤幸吉

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）